

平成 27年 06月 05日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

「生命を繋ぐ 八溝の住まい」

グループの名称

「生命を繋ぐ 八溝の住まい」推進委員会

直近採択グループ番号

04-0246-0154

※過去に地域型ブランド化事業で  
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

阿久津 文和

代表者印

代表者所属先

株式会社 おゆみ野住宅

代表者構成員番号

VI-2

代表者所在地

千葉県千葉市緑区おゆみ野3-25-3

代表者電話番号

043-292-3900

(グループ事務局)

事務局事業者名

第一産商株式会社

事務局構成員番号

VII-1, VIII-1

事務局担当者名

成田 一貴

印

事務局郵便番号

135-0016

事務局所在地

東京都江東区東陽3-23-22東陽ANビル2F

事務局電話番号

03-6666-4056

事務局FAX

03-6666-4057

事務局担当者E-mail

narita.k@diss.co.jp



























1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「生命を繋ぐ 八溝の住まい」	(地域型住宅供給対象地域) 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「生命を繋ぐ 八溝の住まい」推進委員会	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0246-0154	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	年間を通して温暖だが、夏は高温多湿、冬は低温乾燥の温度差の大きい地域が多く、将来的に首都圏直下型地震の発生可能地域でもあり、住宅の耐震性と断熱性の関心は年々高くなってきている地域です。このような地域特性を踏まえて当グループの地域型住宅は耐震等級2と省エネ等級4とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	東日本大震災以降の液状化対策として地盤調査を必須とし、外壁は全面壁パネル施工による施工の効率化を図る。(狭小地でも効率よく施工できるメリット。)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	当グループの供給地域に関しては関東地域ということもあり、地域地域で多種多様でデザインのルールを設定するのは難しい地域である。よって各自自治体で設定されているガイドライン等があればその内容を基準として設定していくようにする。	○
④①～③の背景	当グループの地域型住宅供給地域は関東地域の中にほとんど含まれており、その地域によっては軟弱な地盤もあり、こと耐震という点においては非常に関心度が高い地域ともいえる。また都心部に近くなるにつれ人口密集度が高く、デザインの的にも多種多様な住宅が混在している。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	構造材の使用サイズや使用量のばらつきをなくす為に矩計を統一し、極力無駄なく共通に使用できるよう土台、管柱、梁・桁関係の木材は105にて設定する。(構造上計算上無理な場合を除く)。1F、2F壁は全面壁パネルで設定。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	グループ構成員の事業者数が少ないため、建材や住設関係など主な商材に関しては同一メーカーの物を使用していくように設定し、購入価格や購入先を統一することでコストダウンと商材発注に関してのばらつきを軽減し合理化を図る。そのために定期的な情報交換を行える構成員全員参加型の実行予算の設定を主体とした勉強会を開催していく。	○
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	グループ内で設計部会と題した部会を開催。ここで図面作成、意匠図作成時などで活用するCADシステムを統一化。設計図書の共有化を行っていくようにする。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	上記の部会開催時において議題となる資料関係の作成、各メーカーからの新たな情報提供等のとりまとめを行っていく。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	グループ内の施工店が中心となり地域型住宅の施工に関して、共通活用が可能な施工手引書(施工マニュアル)を検討し作成していく。	○
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールを設定	グループ内で作成した施工手引書にもとに、地域型住宅の検査項目書(検査チェックリスト)を作成して活用していく。その検査項目書(検査チェックリスト)に関してもデータ管理し、常にグループ構成員と施工主とで共通認識を図れるようにしていく。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	グループ内で共通の見積り書式、積算書式を設定。フローチャートを作成して活用の仕方、積算～見積書の作成までの流れをわかりやすくする。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	施工時における各工程別(地盤、基礎、構造、内外装、住設設備、仕上げ)の施工手引書に基づいた写真付きのチェックリストの作成とその内容に関する定期的な施工に関する勉強会の開催。グループ原木供給会社による地域材の大気線(放射能)関係の全量検査と施工主へ検査結果を書面にて提示。(安心・安全の確保)	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「生命を繋ぐ 八溝の住まい」	(地域型住宅供給対象地域) 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「生命を繋ぐ 八溝の住まい」推進委員会	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0246-0154	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	第三者機関である(株)スマイルコミュニケーションズの住宅履歴データ管理システムを活用。グループ内で設定することで構成員がデータにて 共通に管理できる仕組みづくりをする。	◎
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	グループ内で検討し作成したメンテナンス検査書、完了報告書を同様に第三者機関である(株)スマイルコミュニケーションズにてデータ管理。 常時構成員と施主との情報共有を図る。	◎
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	グループ内施工店を中心にした、施主やこれからの見込み客に対しての「家づくり勉強会」セミナーの定期開催。住宅会社の選び方やグループ 内の住宅履歴管理システムの仕組み説明、内装建材や住設設備関係などの簡単なメンテナンス方法などをセミナーの内容に盛り込んで いく。	○
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	上記①～③に関してのセミナー開催日程の決定と準備。開催後のアンケート調査の実施等常にお客の意見を反映させていけるようグループ 内構成員でセミナーに関する役割分担を明確にする。	○
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	グループ構成員の廃業時のバックアップ体制として、グループ構成員内で業務遂行ができなくなった構成員に代わる会社を紹介、お互いに協 議の上新規参加していただくことで業務遂行していく。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	グループ構成員である施工店は、当グループにて設定している第三者機関であるGIRの完成保証に加入する。実際に瑕疵等の問題が発生 した場合は原因と対策をグループ内にてフロー表を作成して対応していくようにする。	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入		
エ. グループの技術力の向上			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	構成員、各メーカーの協力のもと、未経験施工店を対象として経験のある施工店と各メーカーが講師的な立場から定期的に勉強会を行って いく。	○
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	経験のある施工店で行った物件をモデルケースに、机上での具体的な理論を中心とした勉強会と、実際の現場での施工を中心とした技術 的な勉強会を開催。机上の勉強会は月1回開催を目安に、現場での勉強会は各施工店の現場状況に応じて開催していくようにする。	○
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	定期的な勉強会の中で、各施工店は地域型住宅の契約状況や着工状況を報告、材料供給構成員は新商品や取扱い商材の状況等の情 報提供を行っていく。年間を通して地域型住宅の供給目標設定と進捗状況を明確にしていくことで、新しい商材開発や商品選定により具体 性を持って取り組めるようにしていく。	○
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	地域型住宅の具体的な予定を施工店から発信していくことで、その他の構成員が材料の加工や在庫状況、物流状況などを共有化し余裕を もって段取りをとれるように、グループ内構成員のネットワーク工程表を作成。無駄なく合理的に取り組めるようにしていく。	○
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	構成員である施工店は、最低1名以上の省エネ技術講習会への参加を目標とする。	◎
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	定期的な各勉強会の開催時に、各地域で行われる省エネ講習会の日程等の情報をタイムリに伝えていく。事務局にて担当する。	○
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	構造物や内外装の商材に関するコストダウンを目的とした、商品関係の規格統一化と、現在の設定よりも高い省エネ性能を追求してい く。これからさらに深刻な問題になってくるであろう職人不足、それに付随してくる工期短縮化に向けての省施工部材を新たに設定してい くようにグループ内での勉強会を定期的に開催。	◎
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	上記内容に対してグループ施工店主導で協議しながらモデルハウスや分譲物件などで実施検証に取り組んでいく。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「生命を繋ぐ 八溝の住まい」	(地域型住宅供給対象地域) 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「生命を繋ぐ 八溝の住まい」推進委員会	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0246-0154	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①地域材ごとの使用部位(必須) 土台と管柱には100%使用する。梁・桁その他の構造材は地域材(八溝材)もしくは合法木材でも可とする。 ②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須) 土台と管柱には地域材(八溝材)を100%使用する。 地域材利用に関する共通ルール(必須) 土台と管柱には地域材(八溝材)を100%使用する。梁・桁その他の構造材に関しては地域材(八溝材)もしくは合法木材とする。 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	◎ ◎ ◎
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組 事務局を通じて原木供給、製材、プレカットの構成員が中心となってタイムリーな在庫量、価格等の情報を提示できるように設定していく。 ②グループ全体における地域材の需給予測 定期的な勉強会の中で原木供給、製材、プレカットを担う構成員が、地域材の毎月の供給・受注数量や使用予定量を具体的に数値として把握し他の構成員に情報公開していくように設定していく。	○ ○
c	①-1 畳の活用 該当なし ①-2 和瓦の活用 該当なし ①-3 襖の活用 該当なし ①-4 障子の活用 該当なし ②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用 該当なし	
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組 該当なし ②地域の住まい方の継承につながる取組 自然エネルギーの活用や電力エネルギー使用料の軽減など、省エネという部分をより「見える化」して家全体のコストだけではなく住宅の燃費にこだわった地域型住宅を形成できるように取り組んでいく。 ③地域の街並み形成へ寄与する取組 該当なし ④和の住まいの要素を取入れた取組 該当なし	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		○
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。